

串木野新港と甑島を結ぶ甑島フェリー航路の存続に関する決議

甑島と串木野を結ぶ航路は、開設から 120 年を超える歴史の中で甑島島民に支持され、生活の足として定着している。同航路は、島民の生活航路として重要な生活基盤であるとともに、永年の交流の歴史により、いちき串木野市の経済・文化等、さまざまな分野で大きな役割を果たしてきた。

甑島と本土を結ぶ航路については、これまで阿久根や川内、串木野島平等、さまざまな地域との航路開設が模索されてきた経緯があるが、気象条件や地理的特性に伴う安全性、利便性等により串木野港との航路が開設され、その優位性から長期にわたり安定的に運営されてきた。

平成 26 年 4 月から「高速船」は串木野新港から川内港に移ったが、串木野新港を発着する「フェリーニューこしき」は安全性及び利便性に優れた航路として安定した運航が行なわれており、甑島島民の重要な生活基盤となっている。

また、いちき串木野市民との継続した交流の歴史の中には、経済交流や地域交流だけでなく、小中学生を対象とした上甑県民自然レクリエーション村での青少年交流事業やいちき串木野商工会議所と甑島経済団体との情報交換交流などが行われており、島民との『深い絆』・『繋がりの歴史』がある。

いちき串木野市の社会経済にも深く根ざした甑島フェリー航路が、今後変更されるような事態になると、島民の生活はもとより、いちき串木野市の産業・経済、更には今後の市政運営にも極めて大きな支障と混乱を引き起こすことが危惧される。

よって、いちき串木野市議会は、串木野新港と甑島を結ぶフェリー航路の重要性と必要性を再認識し、同航路の存続を強く求める。

以上、ここに決議する。

平成 30 年 6 月 29 日

鹿児島県いちき串木野市議会